

平成28年度自己評価結果公表シート

作成 ひまわり幼稚園

1、本園の教育目標

子ども一人ひとりの個性を大切にしながら、他者との関わりと積み重ねる経験の中でがんばる気持ち、達成する喜び、意欲的に生きる力を育てる。

2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

- ◎幼稚園の教育方針を理解し、教育課程の編成、実施に関して教職員間の共通理解をはかる
- ◎防災計画、訓練を計画的・積極的に取り組んでいく
- ◎支援の必要な園児に対して、園全体で見守り、子どもの発達を理解する
- ◎食育を意識して、果物や野菜を育て、観察することを積極的に行う
- ◎表現する意欲を受け止め、子どもの思いを發揮できるよう配慮する。専門的な分野についても、遊びの中で興味関心が伸ばせるよう環境づくりを工夫する。
- ◎預かり保育や支援教育について、体制を見直していく。

3、評価項目の達成及び取組状況

評価項目		取組状況
幼稚園の教育方針を理解し、教育課程の編成、実施に関して教職員間の共通理解をはかる。	B	指導計画を学年全員で話し合い共通理解をはかり、それぞれの年齢や発達を意識しながら向上心を持ち続けて取り組んだ。
防災計画、訓練を計画的・積極的に取り組んでいく。	B	防火・防災・避難訓練に加えて、防犯に対する知識や実践も研修を受けた。
支援の必要な園児に対して、園全体で見守り、子どもの発達を理解する。	B	それぞれの子どもの特性を知り、全体の中の個の在り方を意識してクラス運営、保育に取り組んだ
食育を意識して、果物や野菜を育て、観察することを積極的に行う。	B	農園を利用し、栽培、収穫を通して、食に関して、また生命を意識できるよう、積極的に日常保育に取り入れた。
表現する意欲を受け止め、子どもの思いを發揮できるよう配慮する。専門的な分野についても、遊びの中で興味関心が伸ばせるよう環境づくりを工夫する。	B	保育の振り返りや、毎日の出来事を学年で話し合い、発達や年齢に応じた保育内容を実践した。ひきつづき音楽や数、図形、文字、化学遊びなど、興味を持てるよう意識した環境づくりに。
預かり保育や支援教育について、体制を見直していく。	A	支援教育は個別指導計画をもとに保育をすすめ、預かり保育においては、興味関心でグループ分けをして目を届きやすくし、遊びに集中できるよう環境設定を行った。

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

目標や計画について、取り組みは積極的に行われたが、振り返りが不十分であり、成果が十分にでていない目標を次年度も引き続き取り組んでいく課題とする。

5、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
幼稚園の教育方針を理解した上で、子どもたちの主体性を育くむため教職員間の共通理解をはかり、発信していく。	子どもたちの主体的な成長をうながすべく見通しをたてた保育実践をこころがけ、自園の保育課程に沿って職員間、子どもとの対話を大切に保育に取り組む。
防災計画、訓練をさらに充実させ、園全体で理解を深める。	防火、防災、避難訓練に加えて、防犯に対する知識や実践も研修を重ね、職員全体で取り組めるよう工夫する。
支援教育について、体制をみなおし、園全体で見守り、子どもの発達を理解する。	個別支援計画の実践の検証を行い、日々の保育につなげ、それぞれの子どもの特性を知り、全体の中の個のあり方を意識したクラス運営、保育にひきつづき取り組む。
食育を意識して、果物や野菜を育て、観察することを積極的に行う。	農園を利用し、栽培、収穫を通して、食に関して、また生命を意識できるよう、積極的に日常保育に取り入れる。
園行事の在り方を再考し、日常保育で意欲や思いを発揮できるよう配慮する。専門的な分野についても、遊びの中で興味関心が伸ばせるよう環境づくりを工夫する。	子どもが自主的な学びを意識した保育内容を実践していく。異年齢児での取り組みや保護者アンケートを実施。ひきつづき音楽や数、図形、文字、科学遊びなど、興味をもてるよう意識した環境づくりも徹底する。
預かり保育の内容をさらに充実させていく	長時間にわたる預かり保育において職員の負担がかかりすぎているか検証し、子どもたちが集中して遊びこめるような環境を整える。

6、学校関係者の評価

それぞれの取り組みに対して、職員が向上心を失わずに、日々熱心に、愛情を持って保育を実践していること、また支援の必要な子どもたちへの取り組みに対して、非常に研究を熱心に重ねていると判断された。

7、財務状況

借入金もなく、特に問題はない。